

彦根市総合計画審議会 第1回調整会議 次第

日 時：令和3年(2021年)5月28日(金)10:30～12:00

場 所：オンライン会議

1 開 会

2 議 題

(1) 調整すべき事項について

(2) その他

3 閉会

## 彦根市総合計画審議会 各部会委員名簿

資料C1-1

(五十音順・敬称略)

## 第1部会

◎：部会長

担当分野：人権・多文化共生・健康・福祉・医療・生涯学習

○：副部会長

| 所属等                   | 氏名      |   |
|-----------------------|---------|---|
| 聖泉大学 准教授              | 安孫子 尚子  | ◎ |
| 彦根市社会教育委員の会議 副委員長     | 上ノ山 眞佐子 |   |
| 一般社団法人彦根医師会 会長        | 奥野 資夫   |   |
| 公募委員                  | 川上 建司   |   |
| 彦根市身体障害者更生会 会長        | 岸田 清次   |   |
| 彦根市老人クラブ連合会 会長        | 郷野 征男   |   |
| 社会福祉法人彦根市社会福祉協議会 事務局長 | 高橋 嘉子   | ○ |
| 彦根市国際協会               | 馬場 加依子  |   |
| 彦根市人権教育推進協議会 副会長      | 森野 宏一   |   |

## 第2部会

担当分野：子育て・次世代育成・教育

| 所属等                  | 氏名     |        |
|----------------------|--------|--------|
| 株式会社千成亭風土 取締役        | 上田 美佳  | 審議会副会長 |
| 公募委員                 | 加藤 義朗  |        |
| 滋賀県立大学 准教授           | 原 未来   | ◎      |
| 彦根市PTA連絡協議会 アドバイザー   | 樋口 吉範  |        |
| 彦根市保育協議会 副会長         | 堀口 美喜子 |        |
| 彦根市小・中学校長会 稲枝北小学校 校長 | 山本 かおる | ○      |
| 彦根市青少年育成市民会議 会長      | 吉田 徳一郎 |        |

## 第3部会

担当分野：歴史・伝統・文化・観光・スポーツ・産業

| 所属等                | 氏名     |   |
|--------------------|--------|---|
| 公益社団法人彦根観光協会 会長    | 一圓 泰成  |   |
| 滋賀県立大学 講師          | 上田 洋平  | ◎ |
| 東びわこ農業協同組合 代表理事理事長 | 大脇 利博  |   |
| NPO法人小江戸彦根 副理事長    | 岡村 博之  |   |
| 一般社団法人彦根市スポーツ協会 会長 | 小田柿 幸男 |   |
| 彦根商工会議所 専務理事       | 志賀谷 光弘 | ○ |
| 公募委員               | 長崎 弘法  |   |
| びわこ成蹊スポーツ大学 講師     | 吉倉 秀和  |   |

第4部会

担当分野：都市基盤・環境・安全・安心

| 所 属 等                        | 氏 名       |
|------------------------------|-----------|
| N P O 法人日本防災士会滋賀県支部湖東ブロック 代表 | 笠 原 恒 夫 ○ |
| 犬上・彦根防犯自治会金城支部 支部長           | 柴 田 謙     |
| 滋賀大学 データサイエンス学部長             | 竹 村 彰 通   |
| 滋賀県立大学 准教授                   | 轟 慎 一 ◎   |
| 彦根市消防団 団長                    | 中 村 藤 夫   |
| 公募委員                         | 久 木 春 次   |
| 彦根市環境保全指導員連絡会議               | 森 雄 三     |
| 滋賀県湖東土木事務所 所長                | 山 崎 彰 吾   |

部会に所属しない委員

| 所 属 等      | 氏 名           |
|------------|---------------|
| 滋賀県立大学 理事長 | 廣 川 能 嗣 審議会会長 |

調整会議における調整事項の整理

資料C1-2

| 区分          | 内容   | 対応案   | 部会 | 記録  | 発言者  |
|-------------|--|---|----|-----|------|
| ■全体の構成等について | ○こういった形で施策の構成が決まったのか、現在の計画から引き継いでいるもの、抜き差しがあったものなど、全体の構成について説明いただきたい。どこが変わり、どこは変わっていないのか知りたい。現在の計画の総括があると議論がしやすいと思う。 | ⇒第2回会議資料として新旧計画の施策の対比表と令和2年度の行政評価を提供します。  | 第4 | P10 | 轟部会長 |
|             | ○既存の計画をベースにしながらで良いので、各計画で掲げる図やダイアグラムなどで必要なものは総合計画でも位置づけていただき、課題内容や方向性について理解できるような計画書にする必要があると思う。                     | ⇒既にご確認かと思いますが現行計画では取組トピックスの写真を掲載している程度で、ほとんど図はありません。基本的には図などの取組の詳細は個別計画に委ね、総合計画基本計画は簡潔な文章に留めたいと考えております。 | 第4 | P9  | 轟部会長 |

調整会議における調整事項の整理

資料C1-2

| 区分  | 内容  | 対応案   | 部会 | 記録   | 発言者    |
|---|---|---|----|------|--------|
| ■書きぶり、表現について  | 【現状と課題】   |   |    |      |        |
|   | ○文章量の均一化を図った方が良いのではないか。<br>[他の部会(分野)とのボリュームの違い]   | ⇒文章量については、各分野ごとにそもそも取組の数などに差異がありますので、均一化する考えはありません。   | 第1 | P10  | 川上委員   |
|   | ○語尾の使い分けの整理や統一が必要ではないか。<br>例)「～必要があります」「～求められます」  | ⇒現状では各担当課に表現を任せておりますが、統一した方が良い場合は事務局で表現方法の基準を作成し統一します。ご意見をお聞かせください。                         | 第1 | P12  | 川上委員   |
|   | ○彦根市ならではのポイントが分かると良いのではないか。   | ⇒より具体的に書くか、大きな動向について書くか、施策によって差が生じる部分も一定あり、統一的な表現が難しいことも想定しておりますが、工夫・アイデア等についてご意見をお聞かせください。 | 第1 | P8   | 安孫子部会長 |
|   | ○課題について、今何が問題でどんな解決すべきことがあるのかという点が見えづらいと思う。   |   | 第2 | P10  | 原部会長   |
|   | ○文によってトーンの違いが大きい印象がある。「主な取組」は具体的な事業・戦略・施策などを記載する形ですが、「現状と課題」は諸施策の最初の方針や基本的な考え方につながるような書きぶりが望ましいと思う。   |   | 第4 | P11  | 轟部会長   |
| ○「現状」と「課題」を分けて記載、それぞれ対応させる(例えば、表形式で)書き方の方がわかりやすいのではないか。 | ⇒現状と課題は一致している場合もありますので、現在の書き方しております。ご提案の書き方は確かに論理が明確になるものの、施策によっては現状と課題が一致しているものもありますので、その場合、現状と課題にそれぞれ同じものを記載する必要がありますので、読み手に冗長な印象を与える可能性があるため、現行のままでいきたいと考えております。 | -   | -  | 廣川会長 |        |

調整会議における調整事項の整理

資料C1-2

| 区分  | 内容  | 対応案   | 部会  | 記録     | 発言者   |
|---|---|---|-----|--------|-------|
| ■書きぶり、表現について(続き)                                      | <b>【12年後の姿】</b>   |   |     |        |       |
|   | ○「何々をめざす」という方向性ではなく、「こういう姿になっている」という状態像を記載すべきではないか。             | ⇒各部会での計画作成作業の際に、事務局で作成した記載例で「～といった状態をめざします」という表現を用いていたため、そうした表現が多くなっています。「めざす」という表現に問題はないと思いますが、記載内容については調整が必要と思われるので、ご意見をお聞かせください。 | 第2  | P10    | 原部会長  |
|   | ○抽象的な内容になっているため、具体的にイメージ出来るような表現が良いと思う。                         |   | 第3  | P12    | 志賀谷委員 |
|   | ○「どのようになっている」と記載した方が読み手には理解してもらえるように思うがどうか。                     |   | -   | -      | 廣川会長  |
|   | <b>【主な取組】</b>   |   |     |        |       |
|   | ○語尾の使い分けの整理や統一が必要ではないか。<br>例) 「～進めます」「～努めます」「図ります」              | ⇒現状では各担当課に表現を任せておりますが、統一した方が良い場合は事務局で表現方法の基準を作成し統一します。ご意見をお聞かせください。   | 第1  | P10、18 | 川上委員  |
|   | ○今既に行われているものと、これから新たに行っていくとするものとの判別がつかない。                       | ⇒現在進めている取組で、継続するものについては、充実する内容を具体的に記載することで、現在の差別化を図っていきたいと考えておりますが、工夫・アイデア等についてご意見をお聞かせください。  | 第2  | P17    | 原部会長  |
|   | ○現在の取組をベースに「充実する」と書かれているものについては、具体的に充実する点、焦点化した点の記載が必要ではないかと思う。 |   | 第2  | P18    | 原部会長  |
|   | ○重点的に行う必要のある項目、新たに焦点化する項目などを、施策ごとに1つか2つは意識して書いても良いのではないかと思う。    |   | 第2  | P18    | 原部会長  |
|   | <b>【その他】</b>  |   |     |        |       |
| ○カタカナ表記がたくさんある。みんなが理解できる計画にするため、脚注を入れるなど工夫を考えていただきたい。 | ⇒全体的に平易な文章になるよう見直しを行い、言い換えられないものは脚注、用語解説等で対応させていただきたいと考えております。  | 第3  | P10 | 長崎委員   |       |

調整会議における調整事項の整理

資料C1-2

| 区分                    | 内容  | 対応案  | 部会 | 記録  | 発言者   |
|-----------------------|---|--|----|-----|-------|
| ■部会で重複する内容（振り分け）等について | ○愛のりタクシーの乗り場までは距離があって、利用しづらい。高齢者の交通手段については重点的に早く進めていただきたい。<br>〔高齢者福祉施策(1-2-4)と公共交通施策(4-1-3)との内容の振り分け〕           | ⇒今後の調整会議の議題となると考えますが、現時点でご意見があればお聞かせください。  | 第1 | P9  | 岸田委員  |
|                       | ○施策の項目で内容がかぶってくるものがある。また「若者の定住・移住の促進」については、他の部会とのかぶりもあると思う。全体像が見えてきた段階で、どの項目に入れるのが妥当か検討していけると良いと思う。             |  | 第2 | P13 | 原部会長  |
|                       | ○空き家の活用については、暮らしの安全・安心とも関わってくると思う。<br>〔空き家については現在2-1-6「若者の定住・移住の促進」に記載〕   |  | 第3 | P19 | 上田部会長 |
|                       | ○彦根市全体の人の流れを考えるには、器である基盤の話とともに、観光部局や商工、場合によっては農業関係部局とも連携を図りながら、ハード・ソフトの両側面から再生を図る必要があると思う。<br>〔第3部会の「産業分野」との関連〕 |  | 第4 | P15 | 轟部会長  |
|                       | ○分野や施策間にまたがる事項については、“再掲”として、どちらにも記載することも考えられると思う。どちらにも記載することにより、より施策が生きてくる可能性があるように思う。                          |  | -  | -   | 廣川会長  |
| ■その他                  | ○「主な取組」の評価はどのようにされるのか。  | ⇒施策そのものの進捗は「指標」で測ることを前提と考えています。「主な取組」の評価は、現在の総合計画では「施策評価」を実施しており、各取組の進捗を内部評価という形でさせていただいております。評価方法については、次期総合計画においても検討を重ねていきます。 | 第3 | P7  | 吉倉委員  |
|                       | ○バックキャストがどのように生かされているのかがわからなかった。  | ⇒12年後の姿(理想の姿)から4年後の具体的な目標にバックキャストして設定するという形をとっています。  | -  | -   | 廣川会長  |